

緑のまち

第24号 平成11年10月26日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1
電話 042(585)4740



(平成10年度 みどりの写真展応募作品より)

昭和2年、『日野桑園』が立日橋近くに開設された。広い桑畑と実験棟を持つ試験場では、省力・多収穫を目標にした優良桑品種の育成、蚕育種に関する研究が長い間行われていた。

昭和55年、桑園は筑波に移転して廃止となった。

その跡地の一部に、昭和62年4月、400mのトラックを持つ陸上競技場と公園を合わせた、約57,000㎡の「市民の森スポーツ公園」が建設された。

毎朝、決まった時間にラジオ体操をするため市民が集まって来る。夏の暑い時期は、裸の幼児が滝シャワーを浴び歓声をあげる。ベンチではお母さん同士の情報交換。

砂場の上には、10mはあろうかという巨大なザイルの遊具で、子ども達が登り降りをしている。公園の周囲を水路が巡っていて、ザリガニ捕りができる。

今も、公園の北には試験場のケヤキ並木の大きな木が森をつくっている。

平成10年度 事業報告・収支決算

1. 緑化推進に関する普及啓発事業

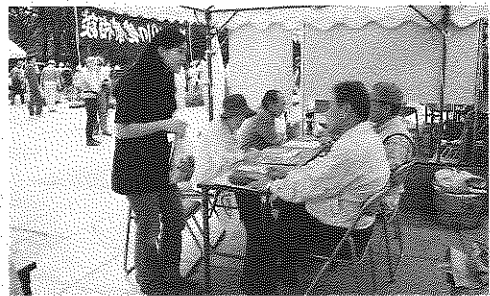
- 春の緑化月間（緑のリサイクル 685点提供）
山野草盆栽展（延入場者475名）
- 秋の緑化月間（菊花展・緑の写真展の開催）
公園及び地域清掃の日（163団体参加）
- 緑の募金運動（募金総額2,747,468円）



山野草盆栽展

2. 緑化推進に関する事業活動

- 花と緑の健康相談（年2回・相談件数 75件）
- 花の里親・里子運動（種の提供25名 874袋）
- 幼保園児および高齢者によるチューリップ植付
（5か所・168名参加）



花と緑の健康相談

3. 緑化推進に関する調査研究

- 緑化推進に関する調査研究
日本の宿根草を使つての花壇づくり

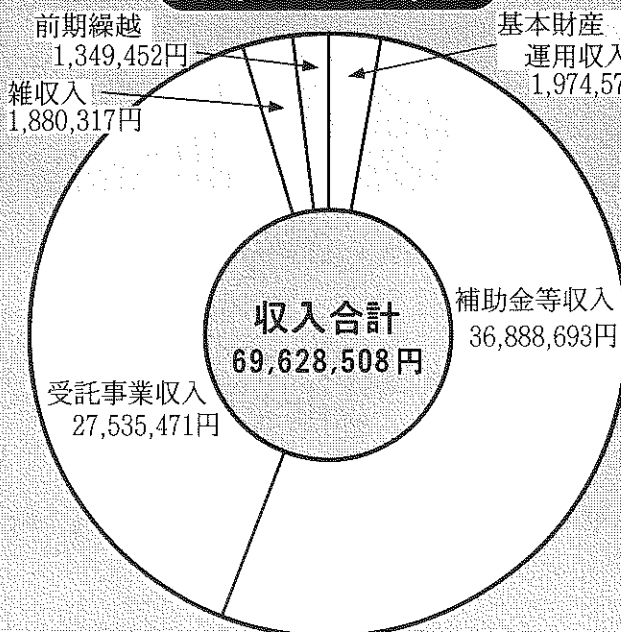


花卉植付事業（七生支所前）

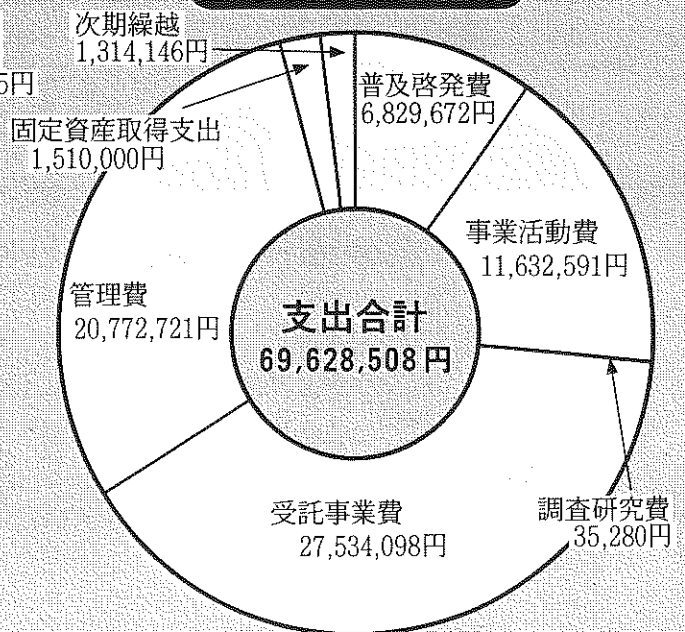
4. 受託事業

- 菊花栽培事業（カサ菊、ポットマム・スプレー菊の栽培配布）
- 花卉植付事業（グリーンベルト花壇等 年4回植付）
- 公園清掃等管理事業（100公園）

収入の部



支出の部



❁サクラ植樹募金❁

皆で

つくろう！

桜の名所

ご協力お願いいたします

多摩川の日野橋下流の堤防敷の一部に
 桜の苗木30本を植樹できることになりました。
 苗木購入の費用と共に、根が生長して堤防を
 傷めないように補強する工事のお金が必要です。
 市民のみなさまの暖かいご寄附を
 ころよりお願いもうしあげます。
 募金は一口1円から何口でも結構です。
 植樹の第1回は2000年(平成12年)2月に
 募金額に見合う本数を植えます。

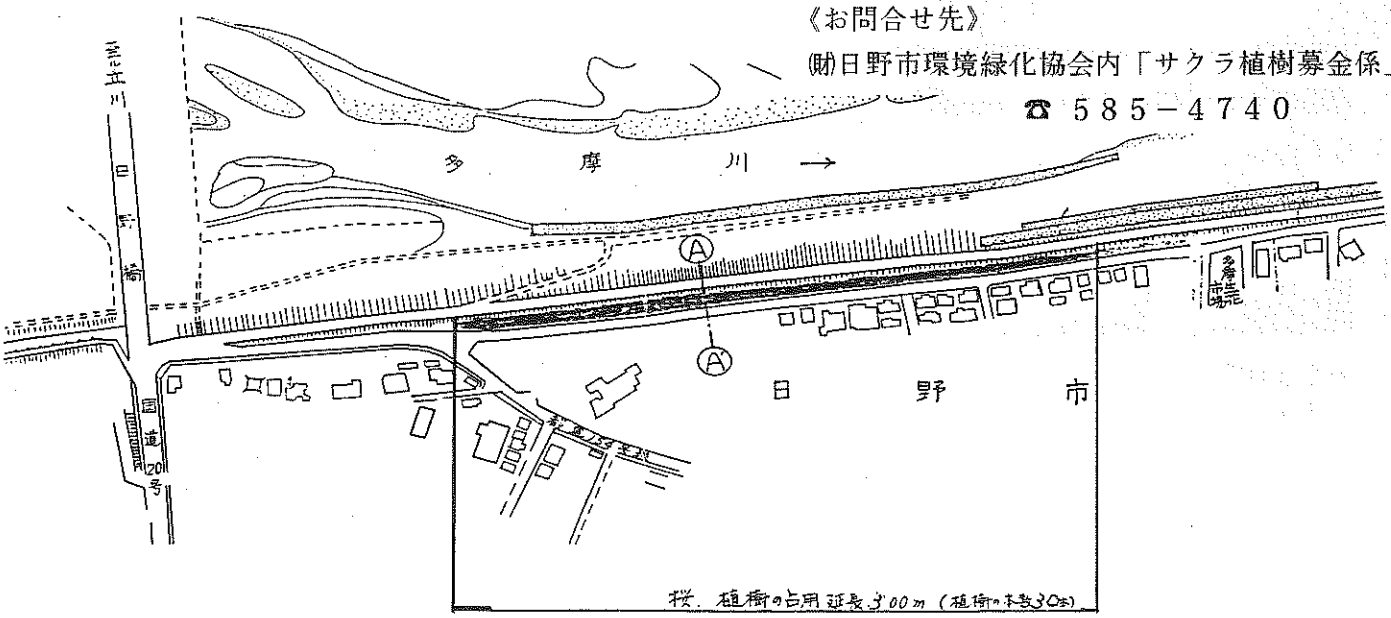
(第2回は2001年2月、
 第3回は2002年2月を
 予定しています)

- ◇ 主催 財団法人日野市環境緑化協会
- ◇ 後援 日野市
- ◇ 協賛 東京日野ライオンズクラブ
 東京日野ロータリークラブ
 東京南農業協同組合、日野市建設協和会
 日野市花卉生産組合、日野市商工会
 日野市農業団体連合会
 日野市老人クラブ連合会、日野緑進会
 (勸)日野自動車グリーンファンド

《お問合せ先》

(勸)日野市環境緑化協会内「サクラ植樹募金係」

☎ 585-4740



桜、植樹の占用延長300m (植樹の本数30本)

ご参加ください。

くらしに花とうるおいを！

主催 日 野 市
(財)日野市環境緑化協会

10月の水路清流月間と11月の秋の緑化月間が「エコ・シティー月間」という名称に新たに生まれ変わりました。

みどりの写真展

11月19日(金)～12月3日(金)(土、日、祝日は除く)
午前8時30分～午後5時 市役所1階市民ホール

★市内のいろいろな緑が見られる写真展です。

○テーマ1『日野の四季』は市内の緑や緑のある生活風景等です。

日野の自然がみせる四季折々の姿を展示します。

○テーマ2『わが家のみどり』

「わが家では、こんなにきれいに咲きました」「ちょっと記念に1枚」など、身近な緑の写真を展示します。

○11月5日(金)まで作品を募集しています。出品については、8面の別掲載の記事をご覧ください。

公園及び地域清掃の日

11月28日(日) 午前9時～正午
公園、緑地、広場等市内全域

★自治会、老人クラブ、子ども会等の皆様のご協力により、市内全域で一斉に清掃を行います。

○当日はそれぞれのリーダーの指示に従ってください。

正月の寄植え講習会

12月2日(木)・3日(金) 午前10時～午前11時30分
午後2時～午後3時30分
会場：(財)日野市環境緑化協会(日野中央公園南側)

★「正月の寄植え」講習会を行います。

松竹梅でお正月を迎えませんか。この講習会では材料も用意しますので、あなたのセンスで、素晴らしい寄せ植えを作ってください。

○定員 2日、3日ともに午前25人、午後25人(申込み多数の場合は抽選)

○講師 武井完雄氏

○費用 3,000円(材料費)

○申込み先 11月24日(水)必着

往復ハガキに講習会名、住所、氏名、電話番号、希望日と午前・午後のどちらかを記入し、〒191-0016 日野市神明 2-13-1 (財)日野市環境緑化協会へ

苗木の無料配布

11月6日(土) 午前10時～午前11時(雨天実施)
会場：緑化センター(日野中央公園南側)

★家庭緑化用樹木の苗木800本(カルミア・シャクナゲなど)を先着順に1世帯1本配布します。

○問合せ先 緑と清流課 ☎ 585-1111

生け垣講習会

11月11日(木) 午後1時30分～午後4時(雨天実施)
会場：(財)日野市環境緑化協会(日野中央公園南側)

★生け垣見本園での樹種の紹介や造園専門家による生け垣の手入れ方法についての解説と実技指導を行います。

○定員 30人

○講師 日野緑進会会員

○申込み先 緑と清流課 ☎ 585-1111

エコ・シティー月間行事に

テーマ：まちに緑と清流を！

菊花展

◆ポットマム、スプレー菊、大菊、懸崖のほか珍しい菊も展示します。日野市の花『菊』の香りいっぱいの会場へ、お誘い合わせのうえおでかけください。

配布苗菊花コンテスト 10月29日(金)～11月10日(水) 市民プラザ(市庁舎前)

★小学校の部、老人クラブの部、市民一般の部に分け、それぞれ丹精込めた作品を展示します。市民の皆様には配布した菊苗のきれいに咲いた姿をご覧ください。

表彰式 11月10日(水)午後2時～ 市民プラザ(市庁舎前)

★コンテスト参加作品のうち日野市長賞、協会理事長賞等36点を表彰します。

古典菊、大菊の展示 10月29日(金)～11月26日(金) 市民ホール(市役所1階)

★中菊の肥後菊、嵯峨菊、江戸菊等の古典菊と大菊約100点を展示します。

菊友会菊花展 10月29日(金)～11月7日(日) 市民プラザ(市庁舎前)

★菊づくりのベテランによる盆養、達磨、福助、切り花等みごとな花をご覧ください。

家庭緑化の日 11月3日(祝日)(雨天実施)

★家庭に緑を増やしましょう。

球根の無料配布 午前10時～

★ユリ、スイセンのセットを先着順に1世帯1セット配布します。

○日野中央公園(午前10時から1,400袋)

○東京南農業協同組合七生支店(500袋) ○平山地区センター(300袋)

○市民の森スポーツ公園、旭が丘中央公園、日野第八小学校、万願寺8号公園(各200袋)

即売会 午前10時～正午 日野中央公園

★苗木、鉢花、園芸資材等を日野市花卉生産組合、東京南農業協同組合が販売します。また、市政図書室が「新・日野の動物ガイドブック」等を販売します。

花とみどりの健康相談 午前10時～正午 日野中央公園

★菊、花、植木の専門家が植物の冬越しなど園芸に関するご相談を行います。

庭木の手入れ講習会

11月19日(金)午後2時～午後4時

会場：(財)日野市環境緑化協会(日野中央公園南側)

★初心者向けに、庭木の基本的な手入れ方法と剪定の仕方を講習します。

○定員 40人 ○講師 山口茂樹氏(都立立川技術専門学校講師)

○申込み先 11月12日(金)必着 往復ハガキに講習会名、住所、氏名、電話番号を記入し、

〒191-0016 日野市神明2-13-1 (財)日野市環境緑化協会へ

ぼくの大好きな

田んぼ

日野市立日野第一小学校

佐藤 貴大

ぼくの家の近くに大きな田んぼがあります。近くに行くのと、稲のにおいがしてきます。家のベランダから見ると、風が吹けば、波がうねるよう見え、まるで緑の海のようにです。

以前は、田んぼを見ても、広いなあ、としか感じませんでした。けれど、五年生の時、田植えや稲かりをして、その時とれた米でおにぎりを食べてから、田んぼを見る目がずいぶん変わったような気がします。

いつもは何気なく見ていた田んぼが、春は植えられたばかりの苗が風にあおられて一斉に空に向かってなびき、夏は暑さに負けずに青々とした葉を広げ、秋は実った米をつくった稲が重い首をたれ、早く刈りとってくれるのを涼しい秋の風を受けながら待ち、冬は近所の子供たちがたこ上げ等をして遊んでいる下で次

の春に備え休息して、栄養をたくわえています。

このように、田んぼは一年で色々な景色が変わって、ぼく達の目と心を楽しませたり、和ませたりしてくれます。緑いっぱい田んぼが、ぼくはとても大好きです。

だけど、すぐ近くまでバイク道路がきているので、田んぼの真ん中に大きな道路ができてしまします。便利になるのはうれしいけど、大切な緑の田んぼが少なくなってしまうんです。それ以上に空気も悪くなり、田んぼの稲が心配です。

日野市は田んぼや畑が多く、自然も豊かなまちです。その自然を、ぼく達が多くの緑を残せるように努力しなければいけないと思います。

もっと自然を好きになり、ぼく達が大人になっても、緑豊かな自然がたくさん残っている日野市であってほしいと思います。

雑草って

スゴイ!

日野市立仲田小学校

小沢 ひとみ

うちは、駅前でスパゲティ

店をしている。そこに裏庭みたいなのがあって、下は全面コンクリート。冷ぼうや暖ぼうに使う器具や、倉庫などが置いてある。そんな、ものすごく空気の悪い場所に先日、コンクリートの横に唐辛子が

できた。いつのまにか、はえていたのでその唐辛子の実に私はびっくりした。うちの店では唐辛子を使っているのだぶん、その種がまぎれこんだのだろう。

それにしても、本当にちょっとの土しかないのに、ぐんぐん一人きりで育っていく唐辛子はすごい。おどろいた。私はその唐辛子をきっかけに、

それとよく似ている、「雑草」というものを少し考えてみた。誰が植えたわけでもないのに、はえてくる草。ふつうの草花とはちがって、水は雨だけにたよる草。どんなに、ふまれてもすぐに、もとおりになる草。

私はこの「雑草」というものは、すごいと思う。字の通り、いろいろな草が入りまじっているけど、その一つ一つが強い生命力を持ち、自分一人でどんな事にもくじけず、生きていく雑草は本当にすごい。尊敬してしまうくらいすごい。誰のためでもなく、何のためでもないように生きていく、雑草は少なくとも、私を少し感動させてくれた。そして、私も「雑草はふまないように!」とまでは言わない

けれど、名も知らないこの雑草をいつまでも、見ていきたい。雑草がない庭なんて、なんだか変だし、かえってこわい。だから雑草の他にも、

木や花、すべての自然のものを大切にしていきたい。そして私も雑草のように、どんなにふまれてもすぐに立ち直り、常に前向きでありたい。誰のためでも何のためにも生きていないような人だって、この雑草のように絶対、何かの感動をあたえたり、役にたっている。

名もみんな知らない、草だっていつか花ひらくのだから……。

命をつなぐ緑

日野市立日野第七小学校

福村 哲平

夏休みの朝、ぼくはベランダの草花達に、大きなジョーロで最低三杯、水をあげるのが仕事だ。水をあげると、いろいろな草花の葉に、水がはじいてきらきら光るのがとてもきれいだ。かわいた土にもたっぷり水をあげていく。ランだけは、たまに水をあげるのが良いと聞いた。最後にとりのおじさんが植えてく

私達からの提案

身近にある緑の『豊かさ』こそが、子ども達自身に様々な経験をさせ、深い感受性を育てています。市内の小学校6年生を対象にした、作文募集「緑のまち」に19校74編の応募がありました。優秀賞10編の内の5編を今回紹介します。

れたオシロイ花にあげておしまいになる。

この前、お兄ちゃんが日野市の事をいろいろ調べていて、日野市の花が菊だと教えてくれた。それでペランダの菊について、思い出した事がある。

ぼくが小学校一年生の時、

市の菊花展に七小が入賞した時の菊がまだペランダにある。毎年、必ず花が咲いて、冬にかれたかと思うと、ちゃんと根元にもう新しい緑の葉が出てきている。春になったらすくすく伸びる。そうやってもう五年もの命をつないできた菊。あまり手入れもしないのに、必ず秋になれば忘れずに花を咲かせてぼくらを楽しませてくれる。もっと前、ぼくが幼稚園の時、中央公園の菊苗配布でもらったポットマムやスプレー菊もまだまだ元気だ。そんな風に緑はいつとも変わらず命をつないで次の年にまた新しい命をつくってきたのだ。ぼくは、すっかり忘れていたのに。

今日もたっぷり水やりをした。今年の夏は暑いから、緑も大変だ。ぼくも少しだけ緑の命をつなぐ手伝いのできたらうれしいと思った。

手の中のホタル

日野市立三沢台小学校

奥井美沙

うちの近くの森を流れる水路には、ホタルがいます。今では、ホタルの見れる場所なんて、とてもめずらしい所だと思います。こんなにもずらしい場所を知っている私、そして近所の人たちは、ホタルの出る時期になると、毎年ホタルを見に行きます。ホタルの出る時期とは「つゆ」です。特に、雨の降った次の日に多く出ます。

今年も雨の降った次の日にホタルを見に行きました。やはり、今年もホタルはいました。ホタルはあちらこちらに飛んでいます。山の奥にいるホタル、川の横にいるホタル、私たちの横を飛んでいるホタルもいました。その数約十五匹弱いました。あちらこちらで、ぴかぴか光るホタルはまるで星の様にも見えました。私は、そこらへんを飛んでいるホタルを、手でそっとすくうようにとってみました。手

の中にいるホタル、豆電球よりも明るく、きれいに光っていました。まるで夜空の星が手の中で光っているよううれしかったです。

ホタルが生きるためには、やはり、「緑」と「きれいな水」が、必要だと思います。うちの近くには、百草園や森林が多く、水も流れているので、ホタルの住みやすい環境です。ホタルの住みやすい環境とは、私たちにとても住みやすい環境だと思います。

いつまでも、この環境を守っていくには、ごみを減らし、リサイクルをしたり、植物を沢山植えることが大切だと思います。これからもこの自然を守って、ホタルにも、私たちにも住みやすい環境をつくりたいです。また来年もホタルを見に行きたいです。



大切な緑

日野市立日野第一小学校

村野真悟

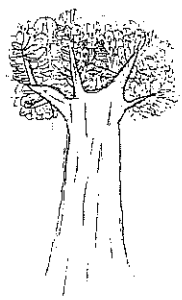
ぼくは、夏休みに長野県戸狩のブナ林を歩きました。こは、ブナやくまざさの葉の緑がたくさんあって、都会とは全然ちがうなあと思いました。

ブナ林を歩いてみると、緑の少ない日野とはちがう気持ちになりました。目をとじて、耳をすまして見ると、風が葉をゆらす音や、虫の鳴き声など自然そのままの音が聞こえてきました。ぼくの住んでいる日野市もこのような緑たくさん自然があるといいなあと思います。

お父さんが生まれた八王子は、家のまわりに山・川・田・畑があってとても緑が多かったですと言っています。でも今は、知らないうちに、道路ができ、マンションが建ったりして、緑がどんどん減ってきています。緑を作っている木・林・森は、いろいろな働きをしています。

ます。たとえば、「空気をきれいにする」、「水を防ぐ」、「水をたくわえる」、「木材を生産する」、「森林浴を楽しむ」、「強風を防ぐ」、「その音を防ぐ」、「動物のすみか」などです。だから、木や林といった緑を作っている所を大切にしなければいけないと思います。でも、人間が住みやすい、便利な町を作ろうとすると、どうしても緑の山や田や畑をなくさなければなりません。ブナ林のような山の中で生活するのは、とっても不便だけど、きつとのんびり思う。逆に便利な町はいいけど、自然がないのもこまると思う。ぼくはどっちがいいか考えてしまいます。

これからぼくたちは、緑といっしょに生活していくために、むやみに木を切ったりしないで、草や木を大事にしたいかなければいけないと思います。人間と動物や虫が緑の自然の中でいっしょに生きていける地球が一番しあわせだと思います。



みどりの写真展作品募集中

エコ・シティ月間中に開催する「みどりの写真展」の作品を募集しています。

▽テーマ1 『日野の四季』

市内の緑や緑のある生活風景など

▽サイズⅡ カラープリント4ツ切り(ワイド4ツも可)

▽規定Ⅱ ①作品は未発表のもので1人3点まで(単写真) ②作品の裏面に題名、撮影年月日・撮影場所、住所、氏名、電話番号を記入した応募票を添付してください。

▽テーマ2 『わが家のみどり』

日頃かわいがっている草花や記念に植えた庭木、可愛い庭など、わが家の緑を撮った写真。 応募写真にお便りか、ちょっとした説明をそえてください。

▽サイズⅡ サービス判以上6ツ切りまで

※応募方法Ⅱ どちらも11月5日(金)までに(財)日野市環境緑化協会(〒191-0066 日野市神明2の13の1)へ持参か郵送 ※応募者には記念品を進呈します。 問合せ先Ⅱ (財)日野市環境緑化協会 ☎585-4740

街角だより

『御茶屋の松』といえば、東光寺(日野)と八王子の境にあった、枝振りのいい大きい松で、遠くからもよく見え、目印にもされた松だということとはみんなが知っていた。

寛政2年(1790)作成の村絵図にも、道の両側に松が数本描かれている。

文化6年(1809)太田南畝が幕府役人として、多摩川堤の検査に来た時の日記にも「東光寺といえる畑を通れば、……松左右に二もとずつたてる所あり、御茶屋の松というところなり」と書かれている。

用水開発の折に、茶屋小屋をつくり、松を植えたところから、「お茶屋の松」と呼ばれるようになったと言う。

「緑の募金」結果のお知らせ

今年の緑の募金は、多くの方々のご尽力により、多大な成果を上げることができました。これも自治会、老人クラブ、各事業所等の皆様の緑化に対する深いご理解とご協力によるものです。厚くお礼申し上げます。

▽募金総額

二六〇万円

▽内訳

- 自治会 一一二万一千八三三円
- 老人クラブ 一六万七千二五〇円
- 公立学校 二万五千二六〇円
- 私立幼稚園・保育園 三万七千六四九円
- 団体・事業所 八万六千三二二円
- 一般・街頭募金 二万五千七九九円
- 市役所機関 一三万八九七円



昭和11年頃の御茶屋の松

この道は、北条氏が合戦に破れるまでは、八王子城、滝山城を行き来する道で、人の往来で賑わったと言う。

編集のあとに

▽今回の「会報」から会社広告が掲載できるようになりました。希望の会社は(財)日野市環境緑化協会までご連絡ください。次回は来年3月の発行です。

▽作文募集「緑のまち」の原稿を読みながら、子ども達は、緑の何に心を動かされているのだろうと思う。植物の強い生命力、昆虫の不思議な命の明かり、自然その物との一体感。そのことを感じて、そこに、その子どもがいる。

文具・事務用品・OA機器 (有) 福島 文具 日野市神明三二一 ☎五八三二二〇九九	(株) 矢内 工務店 日野市東豊田四二〇一六 ☎五八三一五一六三	(有) 戸塚 薬局 日野市多摩平一〇一〇四 ☎五八一二二七五	(有) 津田 アイアイ 日野市多摩平一〇八一二 ☎五八四一四五五六	昭和シェル石油特約店 (有) 山崎 石油 日野市多摩平一三二一四 ☎五八一三二二九九	(株) 第三 開発 日野市日野一九七〇一 ☎五八三一七六九六
---	---	---	--	--	---